



Yamaguchi

空き家ナビ

～空き家利活用事例集～



山口県

Contents

はじめに

山口県では、住宅戸数が世帯数を上回っており、住宅の数が余っている状況です。こうした中、6軒に1軒が^{*}空き家となっており、今後、人口の減少に伴い、ますます空き家の増加が見込まれております。このため、既存住宅を有効に活用していくことが、今求められています。

既存住宅を有効に活用していくためには、良質なものを後世に引き継ぐこと、いいものを修繕しながら長く使うことが大切となってきます。

本冊子では、県内の空き家の利活用事例や空き家の利活用手法を紹介しています。住宅や店舗の取得の選択肢として、空き家の利活用を検討してみませんか。

※H25 住宅・土地統計調査（総務省）

統計上は売却中の物件や別荘・週末住宅・物置などに使っている住宅、入院等で長期に不在にしている住宅も含めて、居住する世帯がない住宅はすべて空き家です。

YAMAGUCHI
PREFECTURE

1. 利活用事例の紹介

| | | | |
|-------|------------------------------------|------|----|
| No.01 | 住宅 → 住宅 大正初期の住宅に天井の高い広々LDK | | 03 |
| No.02 | 住宅 → 住宅 小さな間取りを家族団らんのワンルームに | | 05 |
| No.03 | 住宅 → 住宅 新しい19畳LDKと引継ぐ二間続きの和室 | | 07 |
| No.04 | 住宅 → 介護施設 賃貸で小規模デイサービスを開設 | | 09 |
| No.05 | 住宅 → 商業施設 空き家の一部でジェラートアイスを製造販売 | | 11 |
| No.06 | 住宅 → 商業施設 DIYでカフェ&ギャラリーをオープン | | 13 |
| No.07 | 住宅 → 商業施設 江戸末期の住宅で農家レストラン、ベーカリー | | 15 |
| No.08 | 住宅 → 住宅 代々住み継がれた家を耐震・省エネ改修で安全快適 | | 17 |

| | | |
|-----------------|------|----|
| 2. 空き家性能4つの確認方法 | | 19 |
|-----------------|------|----|

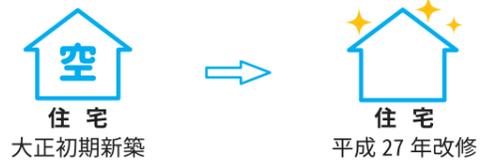
| | | |
|-------------|------|----|
| 3. 空き家購入の流れ | | 21 |
|-------------|------|----|

| | | |
|--------------|------|----|
| 4. リフォームの進め方 | | 23 |
|--------------|------|----|

| | | |
|------------|------|----|
| 5. 県産品のご紹介 | | 25 |
|------------|------|----|

| | | |
|-----------|------|----|
| 6. 相談窓口一覧 | | 27 |
|-----------|------|----|

| | | |
|---------------------|------|----|
| 7. 住宅リフォーム等補助制度について | | 27 |
|---------------------|------|----|



所在地：防府市新田

外観 Facade
Before



After



外観：外壁を張替、アルミサッシを取替えて色味をあわせたことですっきりさせ、白砂利や石灯籠を置くことで和の空間を演出している。

リビング・ダイニング
Living・Dining

Before



After



壁はしっくい、床は杉板を貼り自然素材を活かした体にやさしい仕上となっている。



浴室 Bathroom

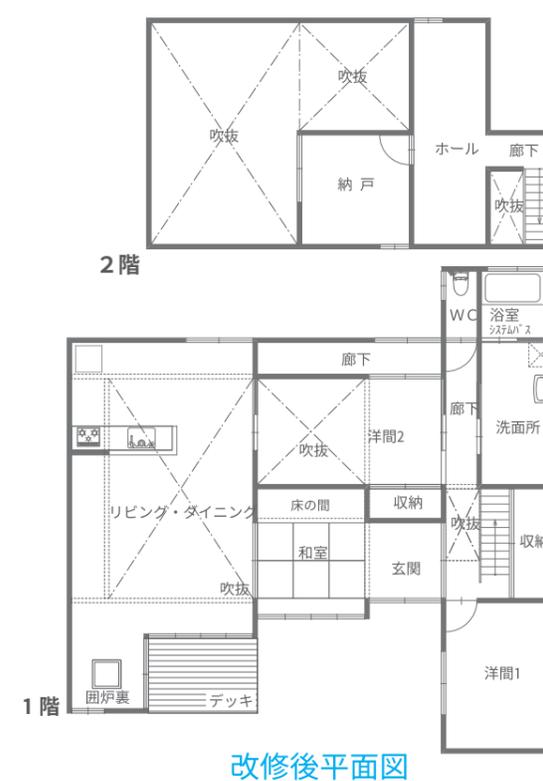
Before



After



浴室：タイル仕上で作られていた浴室をユニットバスに変更ユニットバスを設置することで、柱や土台の腐りの原因となる水漏れを防ぐことができる。



ひとこと

南側に仏間、和室があったので現代の生活に合わせ、南北にリビングを大きく取りました。天井を高く取り梁を見せて空間を広く見せるようにし、贅沢な空間に。もと便所があった部分が中途半端なスペースとなったため、囲炉裏を設け家族団らんの空間をつくることができました。



住宅
昭和 19 年新築



住宅
平成 28 年改修

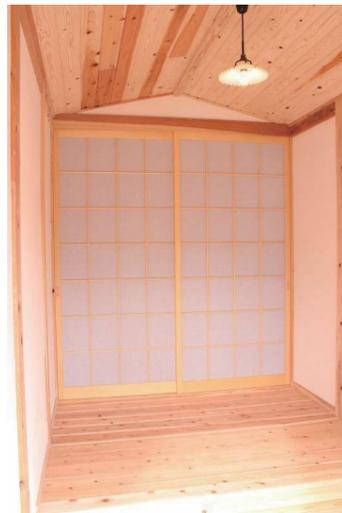
所在地：防府市新田

玄関 Entrance

Before



After



玄関
既存玄関ホールの建具を 90 cm 程度
ずらし、明るい色の素材を使用し
圧迫感を解消した。

リビング・ダイニング
Living・Dining

Before



After



間仕切りを撤去し、アイランドキッチンにすることで開放的なつくりとなっている。



天井に隠れていた既存の小屋梁を表し、既存の柱に杉板を貼り圧倒的な存在感を演出している。

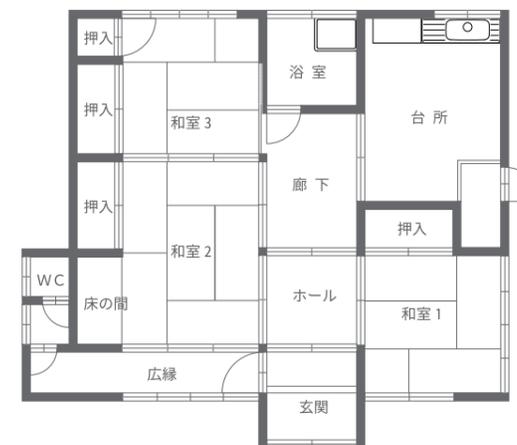
浴室 Bathroom
Before



After



浴室：ユニットバスを使用することで、足をゆっくりと伸ばせる浴槽に。壁も継ぎ目の少ないパネルでお手入れが容易になる。



改修前平面図



改修後平面図

ひとこと

住まい手（夫婦＋幼児）の希望により、小さな間取りで区切るのではなく、キッチンを家の中心に置き、そのまわりで家族が団らんでできるように設計にしました。
古民家の小さな間取りを大きな間取りに変更する場合、どうしても柱が邪魔になりますが、柱を隠すのではなく、柱に杉の板を貼り目立つ様になりました。そうすることで柱が圧倒的な存在となりこの家の価値となりました。
この家には収納スペースが少なかったため、キッチンの後ろに一坪ほどの中二階（ロフト）を作り収納スペースを設けました。

設計者



住宅

昭和 50 年代後期新築



住宅

平成 30 年改修

外観 Facade

Before



所在地：長門市俵山

After



外観：雪の重みで樋が破損したため取替え、傷んでいた外壁を塗装

リビング・ダイニング
Living・Dining

Before



After



小さく区切られた廊下と和室、台所の壁を撤去し、家族がくつろげる19畳のリビング・ダイニングへ

和室
Japanese - style room

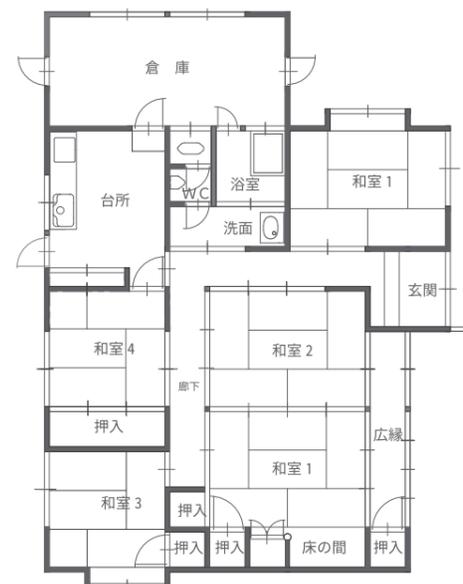
Before



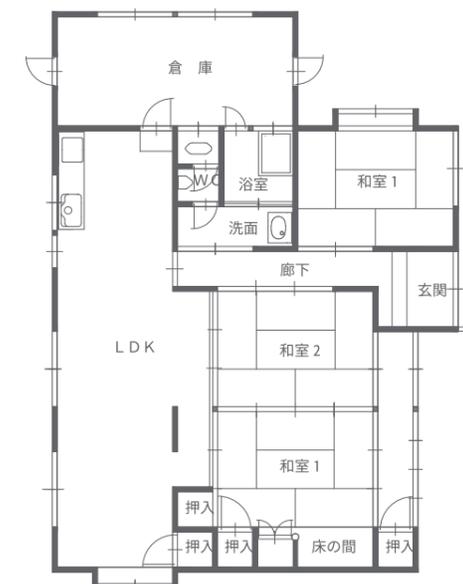
After



既存床組が傷んでいたため補強し畳を新調。襖も張替えすっきりした印象に。



改修前平面図



改修後平面図

ひとこと

祖父が亡くなり、10年間空き家状態だった上、管理していた親戚も亡くなり、このままだと家が絶えると思い、リフォームして帰ることに。裏山があり、奥の和室は白蟻が発生し床組みが腐っていたので白蟻を駆除し、床下を換気して湿気を軽減。小さく仕切っていた和室は壁を取り払い19帖の洋間に変更。二間続きの和室は地域性もあり、家に知人が集まることが多いので残すことにしました。今度、浴室・トイレ 水廻りのリフォームをしようと考えています。

すまい手



住宅
昭和 38 年新築



介護施設
平成 25 年改修

小規模デイサービス
所在地：下関市長府

台所 Kitchen

Before



After

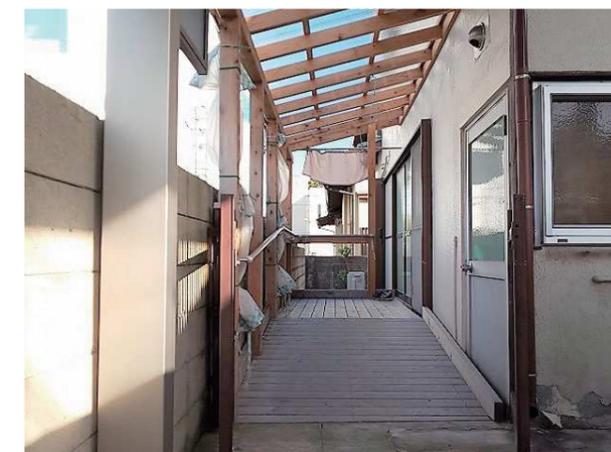


キッチン：利用者に食事が提供できるように区画したキッチンに。予算を抑えるため既存設備を再利用

外構 Exterior
Before



After



外構：車椅子の方にも利用しやすいようスロープを設置

トイレ Toilet

Before



After



トイレ：利用者が使いやすいように押入れを改造して機能訓練室に隣接してトイレを設置。

After



改修前平面図



改修後平面図

ひとこと

維持管理を重荷に感じた所有者が、解体を考えていた物件を地域の方の役に立つならと好条件で賃貸。低予算で住宅から小規模デイサービスが開設可能な建物にする必要がありました。改修せずに使用出来る部分は手を加えず、利用者・介助者の使い勝手を考えながらのプランニングをいたしました。現在も利用者様のニーズに応じて、その時々予算に応じての改修が進んでいます。

設計者



住宅
昭和 31 年新築



商業施設
平成 30 年改修

ジェラートアイス製造販売
所在地：下関市豊北町

外観 Facade

Before



After



外観：和風の外観をやさしい色合いに塗装することで一新し、ジェラートアイス店らしい仕上に。

製造厨房
Production kitchen

Before



After



製造厨房：床を清掃しやすい素材とし、壁・天井に白を使用することで清潔感のある明るい仕上に。

販売スペース Shop

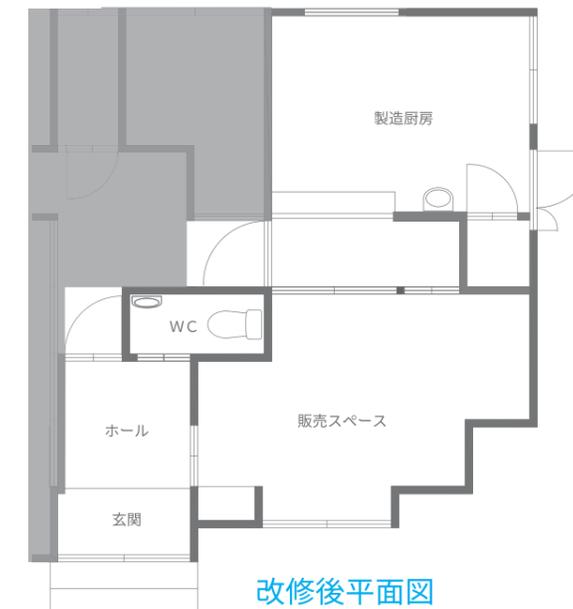
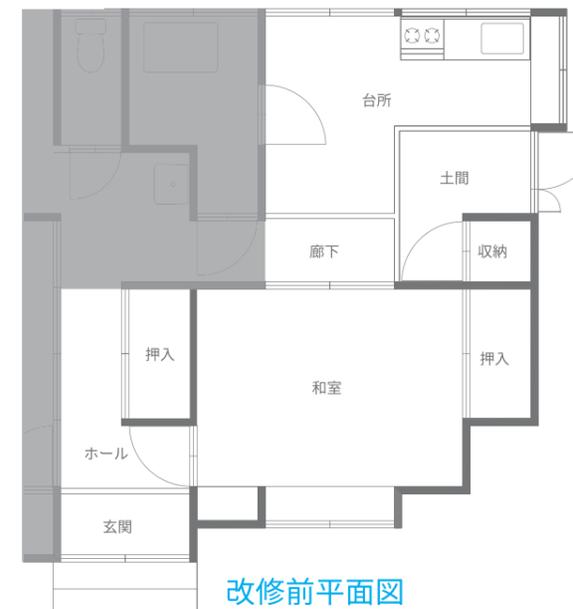
Before



After



販売スペース：雰囲気のあるガラス建具を使用し、幅の広い木目の床材を使用することでナチュラルなイメージに。



ひとこと

購入した中古住宅の敷地内に付帯した平屋の空き家で六次産業を興したいと考えて、1/3 を店舗用に改装しました。
外観から見た感じよりも内部は随分と荒れて傷んだ状態でしたが、元のキッチン部分の床を全て土間にして乳製品の製造が出来るスペースにし、和室を販売店舗予定のスペースとして玄関から入る配置としました。残りの 2/3 の部分は、将来、近隣の人たちの憩いの場として解放することができればと思っております。
現在開業に向けての準備を進めております。

ジェラート店オーナー



住宅
昭和 31 年新築



商業施設
平成 29 年改修

カフェアンドギャラリー
所在地：長門市湯本

外観 Facade
Before



After



外観：1 階部分のみを改修。外壁を白くし木製デッキを設け明るくしている。

ギャラリー
Gallery

Before



After



無垢材をふんだんに使った陶器のギャラリー

カフェ Cafe

Before



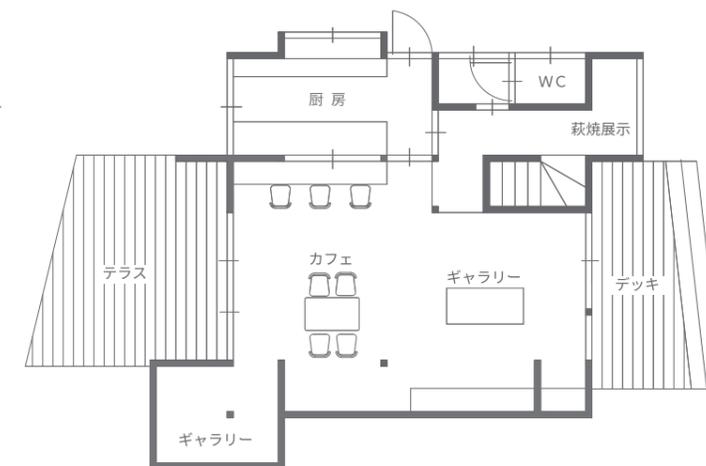
After



建具を引き込み、道路から川へ開放して、店内に山と川からの風を通し、人が集まる空間にしている。



改修前平面図



改修後平面図

ひとこと

地元の旅館・萩焼窯元・フラワーショップ・デザイナーが集まり、湯本温泉の再開発プロジェクトとして、カフェがあったらいいのでは…という声があり、空き家を探していました。湯本のおとずれ川に面した場所を探していたところ、市役所の方に物件を紹介していただき、現在の場所となりました。

すべてを業者に頼まず、解体から経営チーム・店長・山大リノベ部…他、沢山の方々と協力しDIYをし、大変なこともありましたが、手作り感あふれるカフェをオープンすることができました。

カフェアンドギャラリーオーナー



住宅・納屋
江戸時代末期新築



商業施設
平成 24 年改修

レストラン・ベーカリー
所在地：宇部市西万倉

外観 Facade
After



外観：向かって左がレストラン・ギャラリー右側納屋部分がベーカリー

レストラン・ギャラリー



外観：屋根は既存を使用し玄関・縁側の建具は木製を使用し、昔の趣を生かした外観とした。

ベーカリー



内観 Introspection
After

レストラン



レストラン：襖・壁を取り除き、大空間にテーブルの雰囲気を入装にあわせレトロモダンに。

ギャラリー



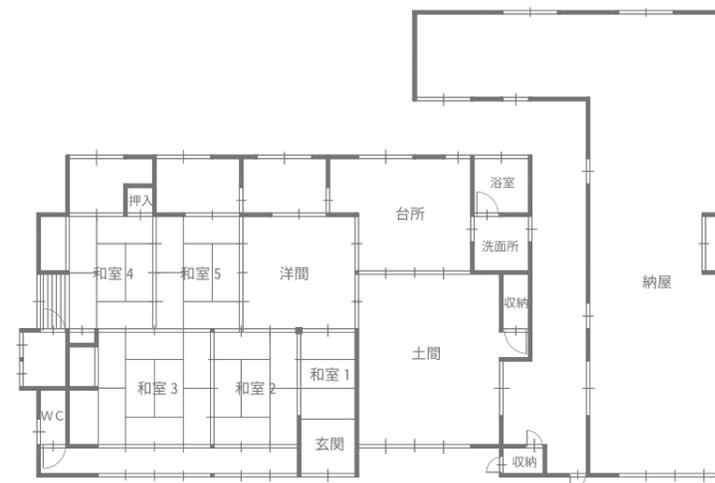
ギャラリー：建てられた当時の梁は圧倒的な存在感。

エントランス

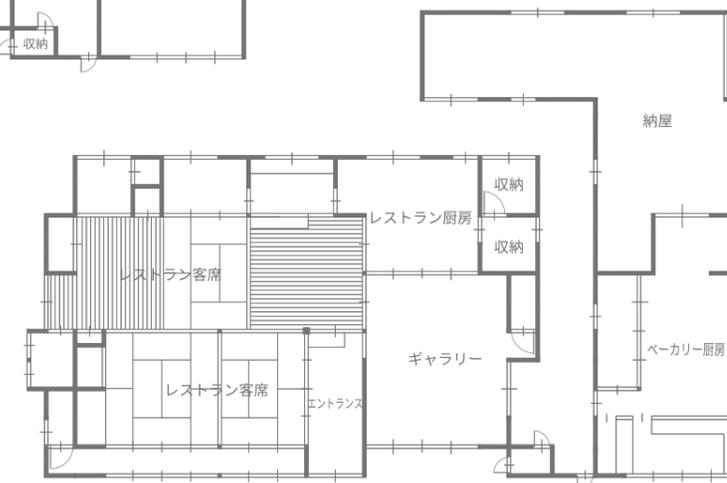


エントランス：石を貼り、植栽を施して坪庭のような空間に。

ベーカリー厨房



改修前平面図



改修後平面図

ひとこと

温泉施設の立ち上げ当時より、運営していく中で地域との連携は必須。施設入口に江戸時代末期の空き家があり、了承を得て、農家レストランとベーカリーに利活用しました。
1人の女性の発案と、地域活性化になればと承諾された持主によってこの家は命を吹き返し、さらに寿命を延ばします。放っておけば朽ち果てた家は今は地域のシンボル景観として皆様をお迎えしています。

レストラン・ベーカリー店オーナー



住宅
昭和 37 年新築



住宅
平成 28 年改修

所在地:下関市豊北町

間取りの変更及び耐震改修・省エネ改修が行われた活用事例です。
改修の流れを見ていきましょう！



まずは現況調査です。

床下から天井裏まで、目視や機器を使用して建物の状態を調査します。



床下調査



天井裏調査



耐震壁調査:耐震壁は土壁



接合部調査:金物はあるが錆びている

全体の調査が終わったら、耐震診断をします。
その結果、倒壊する可能性が高いとの診断結果がでたため、
間取りの改修とともに、耐震補強も検討しました。
断熱材も入っていませんでしたので、省エネ改修も検討しました。



ひとこと
先祖代々の住み継がれた家を、建物の歴史と親族の思いをつなぎ若い夫婦がリノベーションしました。
「親戚の人たちから『この家を残してくれてありがとう』と言われてみんなの思い出を継承する事ができて良かった。」と話されていました。しっかりと調査・診断することで、的確に耐震、省エネ改修が施された、安全で消費エネルギーの少ない住宅に生まれ変わりました。
設計者

～耐震改修～



基礎を鉄筋で補強



土壁だった耐震壁を外側を筋かい・内部を構造用合板で補強



天井・床などの水平面を補強



～省エネ改修～

屋根・壁・床に断熱材を充填し、建物全体を断熱。

屋根



改修前



改修後

外壁



改修前



改修後

床下



改修前



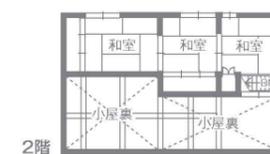
改修後

～間取りの変更～

1階の田の字型の和室を広々としたLDKにし、リビング上部の天井を取り除いて、小屋裏が見えるように改修し、立派な既存の梁を見せた。ダイニングキッチンの天井材は既存のまま利用。階段の位置を移動させ2階は寝室と子供部屋に変更。



Before



2階



2階



1階



1階



After

空き家性能4つの確認方法

～ 建築年代からの確認 ～

建築した年代によって、建物の性能を知ることができます。建築年が不明な時は建物が登記されていれば、法務局で分かることがあります。

耐震基準の変化からわかる耐震性能

住宅を設計する時、地震に対する安全性の基準になるものを「耐震基準」といいます。国では大地震が起こると、その被害を調査し、耐震基準を厳しくしています。

省エネルギー基準

建物の建っている地域によって、断熱材や窓などに基準が設けられています。平成30年現在、住宅については省エネ基準適合が義務付けられていませんが、多くの住宅がこの基準に基づいて建設されています。

耐震基準の年代変化

旧耐震基準
中規模地震（震度5強程度）で損傷が生じる恐れは少なく、倒壊する恐れはない。

新耐震基準
中規模地震（震度5強程度）でほとんど損傷を生じない。
大規模地震（震度6強～7程度）で倒壊する恐れはない。

木造住宅の耐震基準強化
部材接合部の補強金物や壁の配置バランスの基準が追加された。

S55年以前の住宅に比べS56年以降の建物の耐震性能が向上
地震がきても損傷倒壊しにくい安心安全な建物

省エネ基準の年代変化

外壁断熱材：基準無し
天井断熱材：基準無し
窓：アルミサッシ（ガラス一重）

S55 ● 外壁断熱材：グラスウール 30 ミリ
天井断熱材：グラスウール 40 ミリ
窓：アルミサッシ（ガラス一重）

S56 ●
H04 ● 外壁断熱材：グラスウール 55 ミリ
天井断熱材：グラスウール 85 ミリ
窓：アルミサッシ（ガラス一重）

H11 ● 外壁断熱材：グラスウール 100 ミリ
天井断熱材：グラスウール 180 ミリ
窓：アルミサッシ（ガラス二重）
H12 ●

建物の断熱性能が向上
使用エネルギーの軽減につながり
光熱費が安くなる！

～ 図面で確認 ～

新築時の図面、又は増改築、リフォームを行った時の図面があれば、図面から読み取れます。

地震に抵抗する壁の位置や材料が分かる

外壁や天井の断熱材の種類や厚さが分かる

窓の性能が分かる

壁を無くしても安全か？断熱性能を高めるのはどうすればよいか？などの確なりフォームの検討が行うことができます。

～ インスペクションで確認 ～

インスペクションとは、建築士などの専門家が、目視や計測などにより、住宅の基礎・外壁のひび割れ、天井の雨漏りなどの劣化・不具合が発生していないかを調べる建物状況調査です。購入判断や交渉が可能になり、引き渡し後のトラブルの防止に役立ちます。また、補修の必要性を踏まえた適切なリフォーム計画を立てることが出来ます。

～ 耐震診断で確認 ～

耐震診断とは、「新耐震基準」が適用される前に建てられた建物が、「新耐震基準」と比べてどの程度の耐震性能を持っているかを確認するものです。

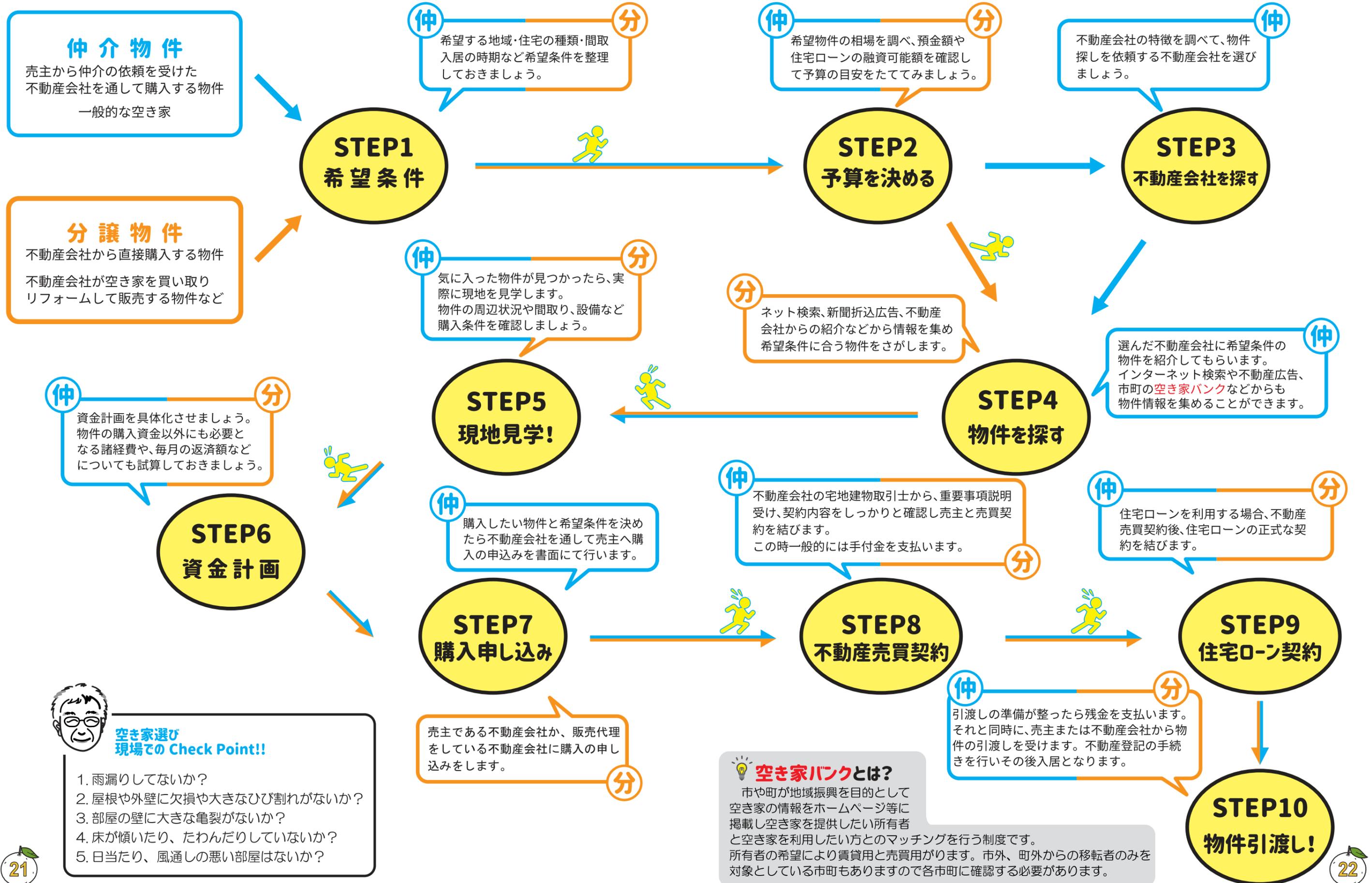
想定される地震動に対して、既設の建物が耐えられるかどうかを判断することで建物の設計上の強度や施工状況、経過年数などを考慮して診断します。

耐震改修・省エネ改修のすすめ！！

地震により、大破または倒壊・崩壊した住宅の多くは、昭和56年5月以前に建てられた旧耐震基準の建物でした。
山口県にも大地震を起こす可能性のある多くの活断層があり、また、南海トラフ巨大地震が今後30年以内に70%～80%の確率で発生すると言われています。昭和56年5月以前の空き家を購入される際には耐震診断により耐震性能を調査し、耐震改修を行いましょう。
窓や床・壁・天井の断熱性能を高めることにより、住宅内の消費エネルギーを軽減することが出来ます。
省エネ改修により、家計にも地球にもやさしい、健康で快適な住宅を実現できます。



空き家購入の流れ



空き家をリフォームするタイミングはいろいろありますが、ここでは購入した後に自分でリフォームする場合の流れをご紹介します。



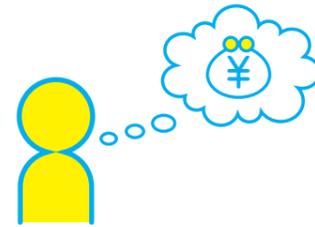
Step1. イメージを固めよう!

希望のイメージを想定し、様々な情報を集めましょう。マンションの場合リフォーム出来る範囲が「管理規約」などで制限されることがあります。早めに規約の内容を確認しておきましょう。



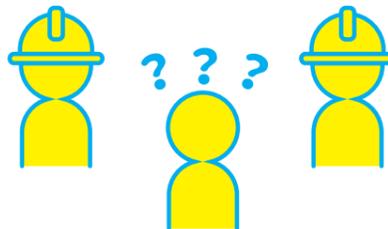
Step2. 予算を決めよう!

雑誌やインターネット等の類似事例で見当をつけたり、物件仲介不動産会社に相談するなどしてリフォームの予算をたてます。金額によってはローンの利用も検討します。



Step3. リフォーム事業者を探そう!

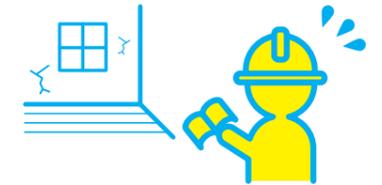
リフォーム事業者の施工事例を参考に、希望するイメージに近い事業者を数社選びます。各事業者の会社概要や施工実績、リフォームの進め方の情報等も入手しておきましょう。



Step4. 見積書・提案書の依頼をしよう!

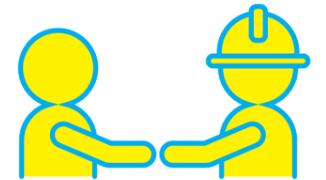
選んだ事業者に、現地調査を依頼し希望の内容を伝え、見積書・提案書を提出してもらいましょう。

相見積り（複数の事業者から同じ内容で見積りを取る）を取り比較検討し依頼先を決めると安心です。その際、相見積りであることを相手に伝え、無料の範囲で見積もってほしいことをあらかじめ伝えましょう。



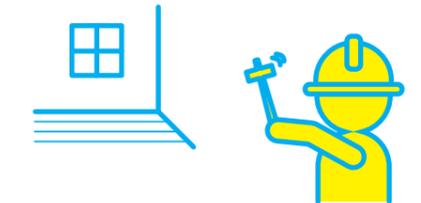
Step5. リフォーム事業者を決め契約しよう!

提出された金額、リフォームの内容や施工体制、工事期間、保証内容などを確かめ、依頼する事業者を決定します。最終的な内容を確定し工事請負契約を結びます。金額の大小を問わず必ず書面にて契約を結びましょう。



Step6. リフォーム着工!!

マンションの場合は、工事前に管理組合にリフォーム工事の申請が必要です。工事中は、工程表どおりにすすんでいるか、工事内容が契約どおりかを確認します。工事追加・変更がある場合はその都度書面に残しましょう。



Step7. 引渡し!!

工事が終了したら、施工業者と一緒に竣工検査を行います。その後工事代金の精算をして引渡しをうけます。



💡アキヤ博士のワンポイントアドバイス!!

耐震・省エネ・バリアフリー・耐久性向上等のリフォームに対して各自治体から補助金が受けられたり、所得税や、固定資産税等の軽減が受けられる場合もあるので、確認しておきましょう。

地産地消によるふるさと産業の振興を図るとともにCO2排出量の削減やリサイクルの推進に資することを目的とした、県産品住宅用建材に係る県関係各課の取り組みについてご紹介いたします。

《山口県産省・創・蓄エネ関連設備登録制度（県環境政策課）》

県内企業が製造・加工した設備や、県産の原材料をもとに製造・加工された設備等を県が登録し公表しています。

| 会社名・所在地・URL | 種別 | 取扱い製品 | TEL |
|--|--------------|---|--------------|
| (株)長府製作所 https://www.chofu.co.jp/index.html | 下関市 設備 | 太陽熱利用給湯システム（分離型（強制循環型）） 太陽熱利用給湯システム（一体型（自然循環型）） 家庭用燃料電池（エネファーム） | 0120-925-339 |
| 長府工産(株) https://chofukosan.com/ | 下関市 設備 | 太陽熱利用給湯システム（分離型（強制循環型）） 太陽熱利用給湯システム（一体型（自然循環型）） | 083-245-5441 |
| (株)安成工務店 https://www.yasunari.co.jp/ | 下関市 設備 | 太陽熱利用空調システム | 083-252-2419 |
| 宇部鉄工業協同組合 http://ube.axis.or.jp/ | 宇部市 設備 | ペレットストーブ | 0836-21-1950 |
| (株)ジオパワーシステム https://www.geo-power.co.jp/ | 美祢市 設備 | 地中熱利用システム | 0837-65-3511 |
| (株)ジャストン https://www.just-toukai.co.jp/ | 山陽小野田市 設備 | 地中熱利用システム | 0836-81-0221 |
| 長州産業(株) http://www.choshu.co.jp/ | 山陽小野田市 設備 | 太陽熱利用給湯システム（分離型（強制循環型）） 家庭用蓄電池 | 0836-71-1033 |
| (株)エヌエフ回路設計ブロック http://www.nfcorp.co.jp/ | 神奈川県 設備 | 家庭用蓄電池 | 0120-545-838 |

※県内の住宅（自ら居住する住宅又は居住予定の住宅）に、上記設備を設置する場合、県の補助制度を活用できます。
補助要件等詳細は、「県環境政策課HP（URL: <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15500/saieneh/saiene.html>）」をご覧ください。

《やまぐちブランド（県ぶちうまやまぐち推進課）》

「やまぐちブランド」とは、山口県内で生産される農林水産物や主な原材料が県産100%の加工品を対象に、味や品質を重視した独自の基準を設けて厳選した登録商品です。住宅用建材については以下のとおりです。

| 会社名・所在地・URL | 種別 | 取扱い製品 | TEL |
|---|-----------|------------------|--------------|
| 県内関係製材所 窓口：(一社)山口県木材協会 http://www.mokkyou.or.jp/ | 木材 | 優良県産木材・集成材スギ・ヒノキ | 083-922-0157 |
| (株)シンラテック http://www.sinlatech.com/ | 長門市 木材 | シイの木フローリング | 0837-37-5001 |

※優良県産木材として認証された木材を利用した新築住宅に対する助成制度があります。
補助要件等詳細は、「県ぶちうまやまぐち推進課HP（URL: <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16700/yamaguchi-kinoie/kinoie.html>）」をご覧ください。

《やまぐちブランド技術研究会 会員企業マップ（県新産業振興課）》

「やまぐちブランド技術研究会」では、産学公の連携により、高度技術産業において、県内企業のものづくり基盤技術の高度化、ブランド化を促進する取組を推進しています。

| 会社名・所在地・URL | 種別 | 取扱い製品 | TEL |
|---|-----------------|------------------|--------------|
| (株)長府製作所 https://www.chofu.co.jp/index.html | 下関市 設備 | 住宅設備機器（空調、暖房機器等） | 0120-925-339 |
| 宇部協立産業(株) http://uks.jp/ | 宇部市 外構 | 玉砂利 | 0836-31-3088 |
| (株)コトガワ http://www.kotogawa.com/ | 宇部市 外装 外構 | セメント瓦・コンクリートブロック | 0836-41-8148 |
| (株)中央サービス http://www.chuohservice.co.jp/corporate/profile.html | 宇部市 設備 | 節水システム | 0836-44-0080 |
| (株)リンケン http://www.rinken-i.co.jp/page7 | 山口市 木材 | 集成材 | 083-973-5500 |
| (株)ワールドガレージドア http://www.wgd.co.jp/ | 山口市 建具 | 木製ガレージドア・建具等 | 083-927-6500 |
| アボンコーポレーション(株) http://abongcorp.jp/ | 防府市 外構 | 鋳物製門扉 | 0835-28-3702 |
| (株)ジオパワーシステム https://www.geo-power.co.jp/ | 美祢市 設備 | 地中熱利用冷暖房システム | 0837-65-3511 |
| 薬仙石灰(株) https://yakusen.com/ | 美祢市 塗料 | しっくい塗料「しっくのん」 | 0837-52-1148 |
| 徳山興産(株) http://www.tkosan.co.jp/ | 周南市 内装 | ステンレス流し台天板 | 0834-31-2727 |
| 小田産業(株) http://www.c-able.ne.jp/~ods-soum/index.html | 阿武町 内装 | 吸音タイル | 08388-2-2521 |

《山口県認定リサイクル製品（県廃棄物・リサイクル対策課）》

リサイクル製品の利用促進及びリサイクル産業の育成を図るため、県内で発生する循環資源を利用して、県内で製造加工されるリサイクル製品を認定し、その普及に努めています。

| 担当課 | 取扱い製品 | TEL |
|--|------------------------|--------------|
| 県廃棄物・リサイクル対策課 http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15700/22zeroemi/r-ichiran.html | 再生舗装材、コンクリート2次製品、緑化資材等 | 083-933-2992 |

相談窓口一覧

・土地、建物の売買、賃貸等に関すること

| 相談先 | 電話番号 |
|-------------------------|--------------|
| 一般社団法人 山口県宅地建物取引業協会 | 083-973-7111 |
| 下関支部 | 083-254-5350 |
| 宇部支部 | 0836-32-8188 |
| 萩支部 | 0838-25-9828 |
| 山口支部 | 083-923-3290 |
| 防府支部 | 0835-24-2188 |
| 周南支部 | 0834-31-3170 |
| 柳井支部 | 0820-23-2389 |
| 岩国支部 | 0827-23-0621 |
| 公益社団法人 全日本不動産協会山口県本部 | 083-974-2103 |

・空き家の改修に関すること

建築士事務所が行う設計・工事監理に関する相談

| 相談先 | 電話番号 |
|-----------------------|--------------|
| 一般社団法人 山口県建築士事務所協会 | 083-925-6701 |

・空き家 市町・県窓口

別紙一覧表を
ご覧ください。



住宅リフォーム等補助制度について

「ハウスポ!やまぐち」では空き家の取得や改修に使える山口県及び県内市町の補助制度のご案内をしています。

ハウスポ!やまぐち



詳しくお知りになりたい方向けのwebサイト

空き家の取引について詳しく知りたい!

安心・安全な不動産取引をサポートする総合情報サイト

【不動産ジャパン】 <http://www.fudousan.or.jp>

リフォームについて詳しく知りたい!

【一般社団法人住宅リフォーム推進協議会】

<http://www.j-reform.com/>

土地・建物の取引価格が知りたい!

【国土交通省：土地総合情報システム】

<http://www.land.mlit.go.jp/webland/>

平成 30 年 12 月

発行 山口県土木建築部住宅課

編集 一般社団法人山口県建築士会

協力 有限会社 三友設備建築スタジオ

株式会社再生工舎

住まい・環境設計

楠こもれびの郷

株式会社 金子工務店一級建築士事務所

I R A 建築設計事務所